

## 第 17 回広島高速道路公社運営会議

令和 5 年 7 月 21 日  
広島高速道路公社

### 議題 1 広島高速道路の利用状況

#### (1) 事業計画

- 高速 1 号線から 5 号線までの計 5 路線 (29km) を、総事業費 4,310 億円により令和 6 年度までに完成する計画。1 号線から 4 号線までの 25km は供用中であり、残る 5 号線の建設を進めている。

路線名	延長	総事業費	備考
高速 1 号線	6.5km	703億円	供用中
高速 2 号線	5.9km	1,013億円	
高速 3 号線	7.7km	956億円	
高速 4 号線	4.9km	380億円	
高速 5 号線	4.0km	1,259億円	整備中
計	29.0km	4,310億円※	

※路線毎に端数処理しているため、合計が合致しない。



凡例	
広島高速道路	整備計画路線
	供用区間 (2車線) (4車線)
	事業中区間
	未整備区間
	整備 I C
	未整備 I C
	基本計画路線等
	構想路線
	高規格幹線道路
	一般国道 (直轄) (事業中区間) (供用区間)
其他有料道路	
其他道路 (未整備区間) (供用区間)	

#### (2) 交通の状況 (日平均通行台数)

- 平成 9 年度 (公社設立) 以降、供用延長しながら、令和元年度まで着実に増加
- 令和 2 年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により減少 (令和 2 年度の日平均通行台数は、令和元年度比 85.8%)
- 令和 4 年度は、同感染症の影響から回復基調にあり、対前年度比 108% の増加 (対元年度比 96%)
- 令和 5 年度は、コロナ禍から回復するものと見込むとともに、利用促進等に係る取組を実施

### (3) 利用促進等に係る取組

- 毎年実施している「お客様満足度調査」で寄せられた意見への対応や TV 出演による広報などを実施
- 道路照明の LED 化等によるコストの縮減につながる取組を実施
- 今後、コロナ禍から回復する機会を捉え、利用促進につながる取組を積極的に実施していく。

#### 【コスト縮減】

- ・ 道路照明の LED 化によるライフサイクルコストの縮減



西風トンネルの LED 照明設置 (R4)

- ・ 床版防水によるライフサイクルコストの縮減



床版防水工事の様子 (R4)

#### 【広報 (TV 出演)】

- ・ 広島市の広報番組で広島高速を紹介 (R5. 2. 12 (日) 夜 9 時 54 分放送)

### (4) G7 広島サミット対応

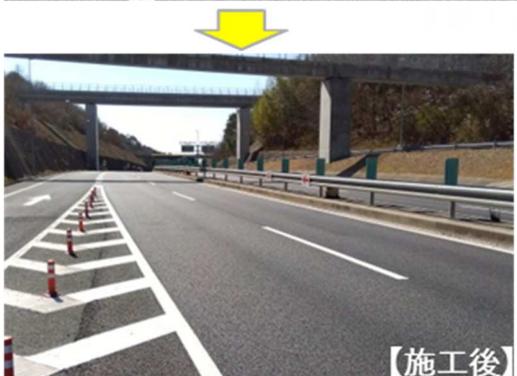
- G7 広島サミットの開催には、広島高速道路の存在が大きく貢献しており、各国要人の安全で円滑な移動手段として活用
- また、事前の環境整備として法面の修繕や除草・伐採、舗装修繕や区画線の更新等を実施。情報板や監視カメラ等の施設点検を前倒しして実施

#### 【要人通行等の状況】



CCTV による通行状況確認  
(仁保 JCT)

#### 【事前の環境整備】



《舗装修繕・区画線更新》

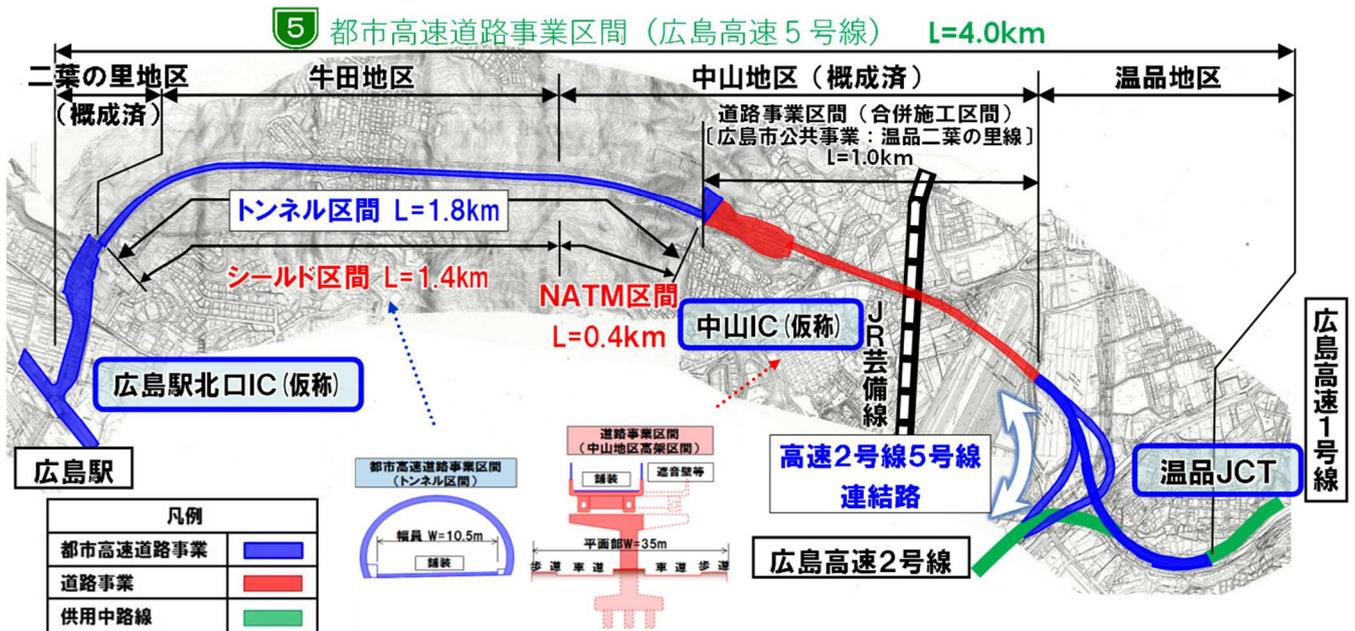
【施工前】

【施工後】

## 議題 2 高速 5 号線の整備状況

### (1) 全体概要

- 公社が施行する都市高速道路事業と広島市が施行する道路事業の合併施行により事業を推進
- 二葉の里地区及び中山地区について、高架橋などの構造物は概ね完成
- 現在は牛田地区でトンネル工事、温品地区で橋梁工事を施工中



### (2) 〔牛田地区〕トンネル区間の状況

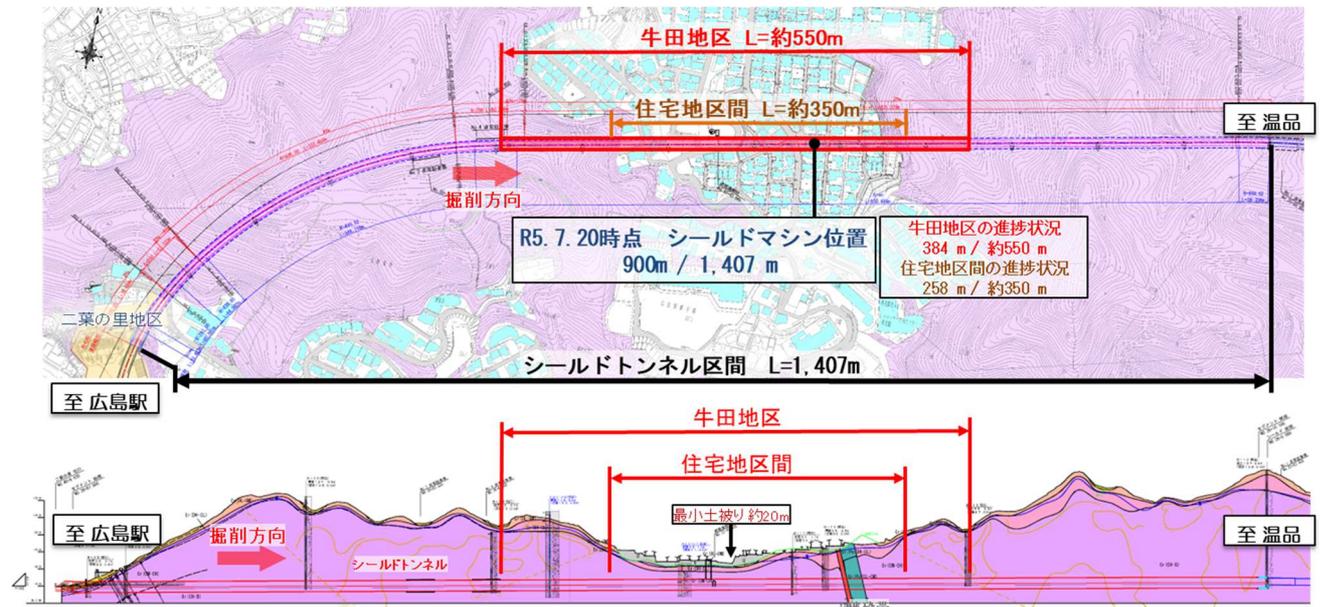
#### 【工事進捗状況】

- 地元住民との調停調書で定める地表面変位や騒音・振動の管理値を基に適切に施工管理を行い、トンネルを掘進
- 令和 4 年 12 月、地表面変位量が +2.5 mm となり、二次管理値 (2.4 mm) に到達したため、トンネル掘削を一旦停止
- 緊急家屋調査の実施や施工管理委員会の意見聴取など調停調書に基づく取組を行うとともに、地域住民の皆様の不安を可能な限り払拭するため個別説明するなど丁寧な対応を行い、令和 5 年 6 月 29 日からトンネル掘削を再開
- 再開後、約 14m 掘進しており、住宅地区間約 350m のうち 258m 地点に到達

#### 【トンネル工事再開後の状況】

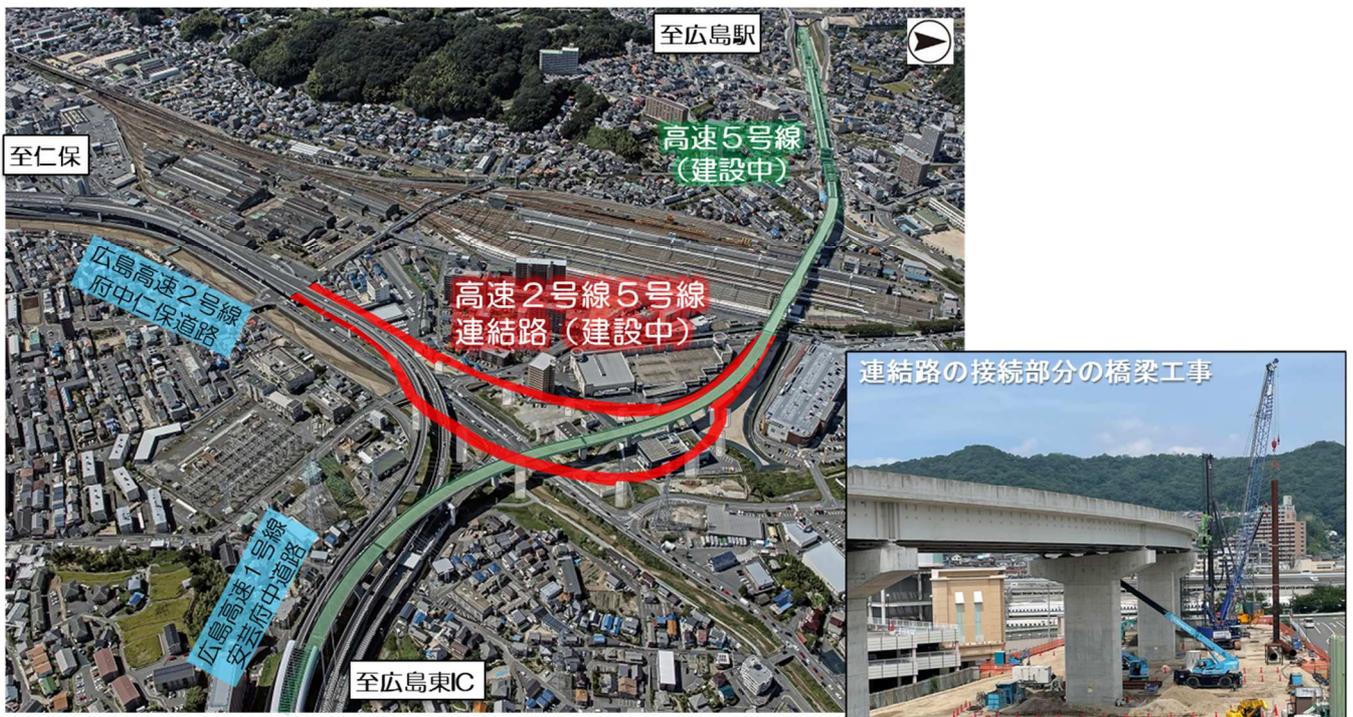
- 地表面変位が二次管理値 (2.4 mm) に到達した計測点は「0.0 mm ~ 0.8 mm」の変動であり、引き続き注視
- 騒音・振動については一次管理値以内であるが、希望される住民に対してはこれまでと同様に、仮の施設の提供に加えて、移動手段の提供なども新たに対応

- 引き続き、住民の安全・安心を第一に工事を進めているところであり、牛田地区の掘削の見通しが立った段階で完成時期を整理



(3) 〔温品地区〕2-5号連結路の工事進捗状況

- 令和4年9月、高速5号線本線と連結路の接続部分の橋梁工事に着手。残る橋梁工事を順次発注
- 引き続き、道路利用者や歩行者等の安全・安心を第一に早期完成に向けて工事を進めていく。



### 議題 3 道路施設の老朽化に伴う更新

#### 【全国の高速道路会社の動向】

- 本年 6 月に NEXCO や首都高速等の高速道路会社において改修費などを確保できるよう、更なる料金徴収期限の延長を可能とする改正法が成立（最長 2065 年まで⇒最長 2115 年まで）

#### 【広島高速道路における先行的な対応】

- 高速道路会社に比べ、比較的施設の新しい広島高速においても、一部区間で橋梁の経年劣化（約 40 年経過）が進行し健全性に課題が生じつつある。
- このため、今年度から、早期に措置すべきものについて床版取替などの対策工事を実施

#### 【床版取替の施工イメージ】



広島高速 1 号線 リニューアル工事のため

**昼夜連続対面通行規制**

1 1 1 1 1  
ふくだ 福田 うまき 馬木 工事 ぬくしな 温品 まどころ 間所

令和 5 年 6 月 5 日 (月) ▶ 12 月下旬 (予定)

※ この期間には準備・片付けのための昼夜連続車線規制を含みます。

#### 【広島高速道路における今後の対応】

- 広島高速においても、更新時期の到来を見据え、計画的な施設更新について、検討することが必要

## 議題 4 今後の取組

### (1) 広島高速道路を取り巻く状況の変化

#### 【広島都市圏における開発の進展】

- 広島市の都心は都市再生緊急整備地域（一部は令和 2 年 9 月に特定都市再生緊急整備地域）に指定され再開発事業や広島駅南口広場の再整備等、サッカースタジアムの建設などの取組の進展
- 広島港への物流施設の建設や広島空港の民営化など、空港・港湾の機能強化に向けた取組の進展

#### 【東広島・安芸バイパスの供用による交通流動の変化】

- ① 東広島・安芸バイパスの全線開通(R5.3)により、山陽自動車道等から東広島・安芸バイパスに交通が転換（開通により空港アクセスの代替性・多重性が強化）
- ② これに伴い、高速 2 号線(南側)・高速 3 号線の交通量は増加傾向
- ③ さらに、明神高架橋の完成により、仁保 JCT 周辺の交通量の増加が見込まれる。



## (2) 状況変化を踏まえた取組

### 【状況の変化・課題】

- ◎ (1)の状況変化（開発の進展、交通流動の変化）
- ◎ 明神高架橋の完成により、慢性的な渋滞が発生している仁保ランプ(出口)において、更に交通が集中



『高速2号線の暫定2車線区間の4車線化及び東雲南向きランプ（南方向の出入口）の早期事業化が喫緊の課題』

### 【主な整備効果】

- ◎ 東広島・呉方面から都心へのアクセスを強化し、都心の活性化に貢献
- ◎ 仁保ランプ(出口)に集中する交通を東雲ランプに分散
- ◎ 広島呉道路の4車線化と一体となって、呉方面から山陽自動車道までのネットワークを強化



(3) 広島高速道路の今後の事業展開

① 高速 5 号線

早期供用に向けて事業を推進する。

② 高速 2 号線（暫定 2 車線区間の 4 車線化・東雲南向きランプ（南方向の出入口）の整備）

東広島・安芸バイパス、更には明神高架橋の供用による交通流動の変化に対応できるよう、早期事業化に取り組む。

③ 高速 3 号線（暫定 2 車線区間の 4 車線化）

臨海部の都市機能の向上を図るため、広島南道路（木材港西～廿日市）等の整備進展に合わせて対応する。

④ 高速 4 号線（山陽自動車道への接続）

現在、広島市において環境アセスメントの準備等を実施。ミッシングリンクの解消に向けて、準備が整い次第、事業化する。

